



圧縮機-2 コンプレッサの吐出圧力を低減して約8%の省エネ！

◆ 製造業(金属製品製造業)の事例

コンプレッサの吐出圧力が0.7MPaで起動、0.8MPaで停止に設定されている。

吐出圧力を0.7MPaから0.6MPaに低減すると…
(定格出力:3.7kW×2台、稼働:3,254時間/年)



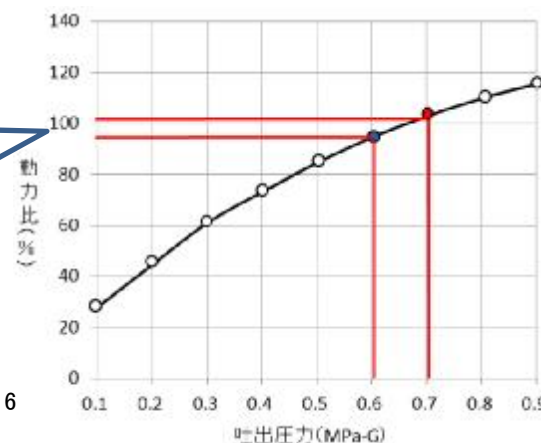
- ★ 年間 1,043kWh の省エネ！
- ★ 年間 1.8万円 のコスト削減！
- ★ 投資 0円！



省エネのポイント！

コンプレッサの吐出圧力を0.1MPa下げると、消費電力は8%程度低減します。
製品製造に支障のないことを確認しながら、徐々に吐出圧力を下げていくことをお勧めします。

吐出圧力を0.7MPaから0.6MPaに低減すると約8%の省エネ！



グラフ出典: 工場の省エネルギーガイドブック2015-2016
((一財)省エネルギーセンター)

現状の年間消費電力	13,041kWh/年 (実際の電流計測値等から試算。)
削減効果	1,043kWh/年 = 13,041kWh/年 × 8%
削減額	17,616円/年 = 1,043kWh/年 × 16.89円/kWh
CO2削減量	0.5tCO2/年 = 1,043kWh/年 × 0.522tCO2/千kWh ÷ 1000

※電力単価は、年間の平均従量単価を採用しています。